

1 新施設整備の基本的事項

■基本計画策定の目的

横須賀地区に新たに施設を整備します。新施設は、地域の歴史文化を学び、体感するとともに、映像の活用により、生涯学習活動や創造活動を発展させ、継続的にまちを創り続けていく力を育てながらまちづくりを進める「**新しいまちづくりの拠点**」とします。

新施設を拠点とした継続的なまちづくりが市内外始め海外からの来訪者の増加を促し、地域の交流人口・関係人口の増加、さらには定住人口の増加につながり、地域や市全体の継続的な発展に寄与します。

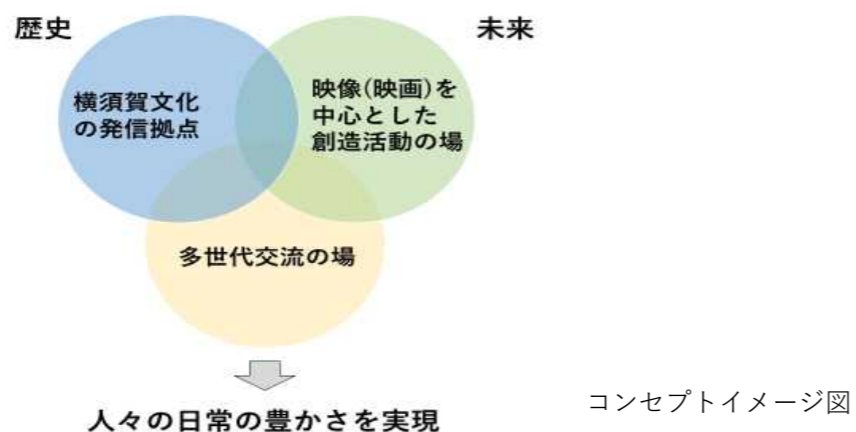
新施設を整備するに当たり、必要な規模、導入する機能等を明らかにするため、「新施設整備基本計画」を策定します。

■基本理念

「創る、育てる、動かす、これからの未来」
～自由なチャレンジと創造の楽しさ～

■基本コンセプト

3つの基本コンセプトによる活動により、「人々の日常の豊かさを実現する」施設を目指します。



○横須賀文化の発信拠点（歴史）

これまで地域の人々が思い、大切にしてきた横須賀地区の歴史文化資源を発信することで、歴史文化を学び、体感し、次世代につなげる場とします。

約350年前に二代尾張藩主徳川光友公の「横須賀御殿」の造営から現代まで継承されている町割や尾張横須賀まつりの文化、横須賀地区が生んだ歌人阪(ばん)正臣(まさおみ)等、横須賀地区の魅力ある歴史文化を発信します。市内外から施設を訪れる人々が横須賀地区の歴史や文化を学び、体感し、わがまちの良さを再発見することで、歴史から未来を考える機会としていきます。また、新施設を拠点として、横須賀地区等への回遊性を高めていきます。

○映像（映画）を中心とした創造活動の場（未来）

映像（映画）を中心とした創造活動の場を提供し、ひとづくり・まちづくりに貢献します。映画を代表とする映像の制作活動では、地域を始め多くの人々との関わりや交流を生むと同時に、その発信力は、まちの愛着等の人々の心の豊かさに寄与するものです。映画鑑賞だけでなく、映像（映画）の制作もできる特徴を持った施設を整備することで、ひとづくり、地域の魅力の再発見、地域住民の地域に対する誇りの高揚、創造活動の発展、地域への来訪者の増大等を目指します。新施設では誰もが映像制作や上映ができる等、これまでに市にない機能を備え、多くの市民等が「映像」と関わりや交流、創造活動やチャレンジを楽しむことができる場とします。また、様々な形で映像（映画）や地域の魅力を国内外に発信します。美術分野においても、多くの市民や芸術家等の新たな創造活動や幅広い表現に対応できる場とすることで、新たなチャレンジを応援し、創る人・観る人の創造性を育てます。さらに、映像クリエイターや芸術家等が、地域を巻き込んだ活動や交流で、市民とともに地域の魅力を再発見し、情報発信していくことで、創造活動を発展させるとともに、人々の日常の豊かさへとつなげていきます。

○多世代交流の場

公共施設の空間では、日常の暮らしに根ざし、新たな日常を生み出していく場となる必要があることから、引き続き生涯学習活動や創造活動を支え、人々の交流を促進します。様々な講座やサークル活動、イベント等で利用しやすい貸室を整備します。また、幅広い表現に対応できるギャラリーを整備し、展示機能の強化を図ります。さらに、託児等に対応できるように検討していきます。地域をはじめとして、多くの市民が様々な場面や活動で利用でき、若者からお年寄りまで幅広い年代の方が立ち寄りやすく、集いたくなる、交流したくなる憩いの場としていきます。

2 事業計画

■事業の基本的な考え方

歴史文化資源の豊富な横須賀地区の特性と、創造やチャレンジ、学び、育成、交流の要素を取り入れた5つの事業を展開していきます。

- ①まちづくり・交流事業 ②創造・育成事業 ③地域発信事業 ④鑑賞事業 ⑤貸館事業

■導入機能及び諸室計画

導入機能は、「ホール・展示機能」、「交流促進機能」、「活動支援機能」、「管理機能」の4つを想定しています。また、現在検討しているそれぞれの主な機能は次のとおりです。

○ホール・展示機能 (620 ㎡)

合計 2,500 ㎡

諸室名	想定面積/席	機能内容
映像ホール1	115 ㎡程度/ 100 席程度	大型スクリーン、サラウンドシステム等の映画上映に最適な環境を備えるとともに、舞台を備える。映画上映の他に、映像を使用したイベントや講演会、研修等でも利用できるホール。
映像ホール2	55 ㎡程度/ 50 席程度	Blu-ray ディスク、DVD、その他プレゼンテーションソフト等からも上映可能とし、アマチュアでも利用しやすい。講義や会議等でも利用できるホール。
ギャラリー	330 ㎡程度/ 300 席程度	可変性のある空間の作り方によって、展示、講演会、発表会、ワークショップ、撮影スタジオ等、多用途に対応するギャラリー。1/2 利用等、利用者に合わせた使い勝手の良い空間づくりを検討。

○交流促進機能 (570 ㎡)

諸室名	想定面積	機能内容
エントランスホール	200 ㎡程度	施設の第一印象となるロビーとして、すべての方が来館しやすいよう構造上配慮を行うとともに、明るく開放的な空間とする。
歴史文化・情報発信コーナー	100 ㎡程度	立ち寄りやすいようエントランスホール内に整備。展示ケースや映像技術等の活用、壁面に祭りの映像を流すモニターの設置等、情報発信に必要な機能を整備。映像ホールやギャラリーとの連携も考慮する。
レストランカフェ	150~200 ㎡程度	外部空間や広場との繋がりを考慮し、施設を利用しない方も気軽に立ち寄ることができる動線を備える。席数は 50 席程度を想定する。
ホワイエ	100 ㎡程度	開演前等に観客がくつろぐことができるスペースを計画する。

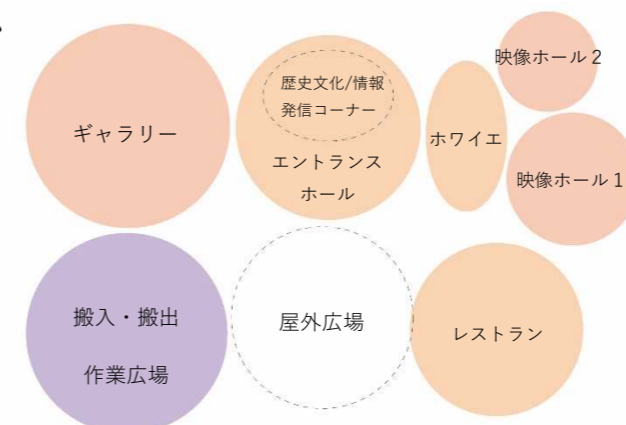
○活動支援機能 (490 ㎡)

諸室名	想定面積	機能内容
会議室 小会議室	100 ㎡程度(1 室) 50 ㎡程度(2 室) 25 ㎡程度(1 室)	会議、研修、ワークショップ、講座、打ち合わせ等、日常的かつ多様な生涯学習活動等に対応できる機能を検討する。100 ㎡の室は、可動間仕切等で 1/2 利用もできるよう検討する。
活動室	60~80 ㎡程度	クッションフロア。託児等への利用が可能。防音性能を持ち、日常的かつ多様な生涯学習に対応する機能を検討する。
編集エリア	50 ㎡程度	初めて編集作業等を行う方でも利用可能な設備を計画。MA エリア等とオンラインで接続可能。適切な防音・遮光性能を検討する。会議等でも利用可能な仕様を検討する。
MA エリア	50 ㎡程度	映像ホール等での発表を想定した音響を組み立てることが可能。適切な防音・遮光性能を検討する。会議等でも利用可能な仕様を検討する。
収録ブース	50 ㎡程度	適切な防音・遮光性能を備え、ナレーション収録や吹き替え等様々な用途での仕様を検討する。会議室や簡易録音室としても利用可能な仕様を検討する。
カラーグレーディングエリア	50 ㎡程度	カラーグレーディング作業等に適した設備を検討する。適切な防音・遮光性能を検討する。会議等でも利用可能な仕様を検討する。

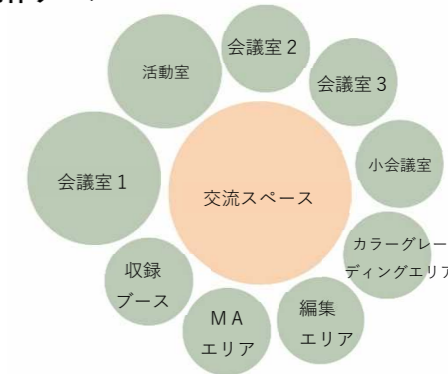
○管理機能 (820 ㎡)

諸室名	想定面積	機能内容
管理事務所	100 ㎡程度	来館者を認識しやすく施設全体を管理するのに適した位置に配置。
搬入・搬出作業広場	330 ㎡程度	利用時に機材や大道具を搬入・保管することができる搬入室を設置。イベント時は、屋外やギャラリーと地続きに繋げる事も可能。

発信ゾーン



制作ゾーン



3 施設整備計画

10年、20年後の横須賀地区の未来を見据え、長く人々に愛され、利用される施設とするため、多様性や将来のニーズの変化にも対応できる使いやすい施設を目指します。また、持続可能な開発目標 (SDGs) の取り組みの推進に寄与する施設としていきます。環境への配慮や、感染症対策等を考慮した設備計画、安全性・利便性に配慮した動線計画、構造部材の木造化を検討しつつ、適正な耐震性能を確保した構造計画を実施します。

[敷地概要]

建設予定地：東海市横須賀町狐塚1 1 番地始め 13 筆

敷地面積	3, 394.55 ㎡
用途地域	商業地域
建蔽率	80%
容積率	400%
防火地域	防火地域
宅地造成工事規制区域	区域外
砂防指定	指定なし

4 管理運営計画

適正なハード管理とともに、ソフト事業の推進が可能な施設管理運営体制を整えます。運営方式については、民間のノウハウを生かした事業展開や施設運営を行う為、指定管理制度を導入します。施設の利用状況や事業の実施状況を踏まえ、経費的にもバランスの取れた適切な管理運営を行います。

5 整備スケジュール

